



新潟支部会報

一般社団法人 大学女性協会新潟支部
2024 年 9 月 No.13

目次

2024 年度支部総会報告	1~2 頁	支部の動き、ベトナム奨学生からのレター	6 頁
女性財団評議員活動紹介	3 頁	お知らせ、2024 年度支部奨学賞について	7 頁
留学生との交流会報告	3~5 頁	定時会員総会と全国総会参加報告	7~8 頁

2024 年度支部総会

日時： 2024 年 4 月 27 日 (土) 14:00~16:00 会場：クロスパルにいがた

第一部

JAUW 奨学生受賞報告会 お祝いと受賞者講話

司会 鈴木 裕美

2023 年度 JAUW 国内奨学生 (一般奨学生)

EKACHAERY ANTI ZAIN さん 新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程 4 年



EKACHAERY ANTI ZAIN (エカチャエリヤンティ ザイン)さんは、インドネシアからの留学生。本国で医師のお仕事に携わり、研究のため 2 人のお子様とともに来日されました。

1 月 13 日には東京の学士会館で授与式が開催されました。この度はその報告とあわせ、支部からのお祝いの花束(インドネシアと日本それぞれの国旗にちなんで「赤と白」)を贈呈しました。お名前の呼称は「エカ」さん。

写真

前列中央がエカチャエリヤンティ ザインさん
両隣は賛助会員の佐藤拓一さんと大淵智絵支部長

記念講話

記録/報告 吉谷 美知子

講師 エカチャエリヤンティ ザインさん 新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程 4 年

研究テーマ「キュー刺激課題遂行中の脳磁図を用いたインターネット障害患者 (IGD) の脳活動における

グループ心理療法の効果」

インターネット・ゲーム障害 (IGD) は、インターネット・ゲームを過剰に使用し続ける新しい精神障害、行動依存症である。いまだに IGD の様態は解明されず有効な治療は確立されていない。

これらに対し、脳活動の病理を測定できる脳磁図 (MEG) 測定によって、キュー刺激課題遂行中の IGD 患者の脳活動を明らかにし、IGD 患者に施されるグループ心理療法がどのように脳機能を改善できるかを解明する事が本研究の目標である。

IGD 患者は他の物質使用障害 (パチンコ、たばこ etc.) と同じくドーパミンの減少が見られる。インターネット・ゲームはアクセスしやすく、日本においては高校生の 2013 年 51 万人、2018 年 93 万人が IGD と疑われる。



治療法は、

- ① 薬物療法
- ② 認知行動療法
- ③ 心理社会的治療；グループセラピー、キャンプ治療

がある。

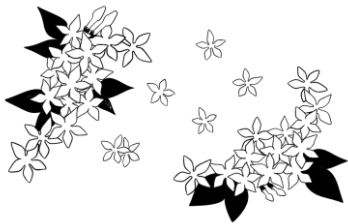
新潟県立精神医療センターでは、新潟大学医師によるグループセラピーが一週間に1回、1時間行われている。妙高では患児たちに1泊2日のキャンプ治療を行った。研究に用いた西新潟中央病院のMEGは日本で7施設にしかないもので貴重な研究となる。

研究方法として、

- ① 健常者とIGD患者の脳磁図(MEG)を比較する。
- ② IGD患者に対してグループセラピーと通常治療を行う。
- ③ 治療前後のIGD患者の脳磁図(MEG)を比較する。

cf,IGD患者に対してキュー刺激課題をした。キュー刺激課題；IGD患者の依存対象ゲームのpicture(静止画像)を見せる。その結果、IGD患者の脳活動を捉える事ができた。IGD患者では、健常者と比較して、キュー刺激課題下で、後頭部、楔状回、海馬傍回に強い脳活動が見られた。これらの活動は、グループセラピー治療後著しく減少した。

インドネシアにおいて7年間、臨床精神医学と地域精神保健サービスに携わってきた精神科医として日本で博士号を所得し、メンタルヘルス分野の研究活動、中学生を対象としたいじめ予防、介入に関する国際共同研究を行いたいと思っている。



美しいビジャブ姿のエカさんはきれいな英語で講話して下さいました。賛助会員の佐藤さんは英語での確かな質問、英語に堪能な会員からも質問がよせられ、エカさんからは「ザイン=父の名前」、「エカ=私の名前」と教えて頂きました。お茶とお菓子、笑顔で皆々と写真を撮りなごやかな会となりました。(吉谷美知子)

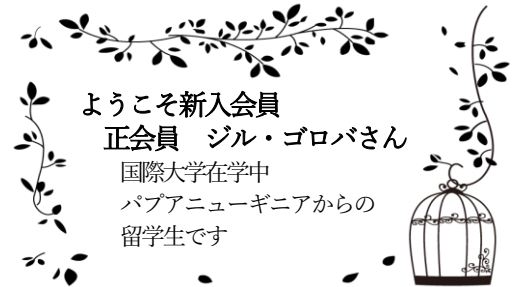
第二部

総会議事 議長：田代信子 書記：阿部美知子

総会成立(出席9名 委任状11通) 20/会員22名中

◆議案◆ 議案はすべて承認されました。

- I 1. 2023年度事業報告 2. 2023年度収支決算報告 3. 監査報告
- II 1. 2024年度事業計画 2. 2024年度収支予算



◆運営体制◆ 2023~2024年度

<役員>

支部長	大淵智絵
副支部長	三上杏里
会計	登坂美江子 仲川幸子
書記	阿部美知子 吉谷美知子

<監事>

五十嵐由利子 田代信子

<部会>

男女共同参画部
 部会長 高橋令子
 副部会長 阿部美知子
 副部会長 登坂美江子

国際交流部
 部会長 鈴木裕美
 副部会長 吉谷美知子

社会学習部
 今年度活動計画無し

親睦部
 部会長 井上里恵子
 副部会長 仲川幸子

◆交流団体などにおける当会推薦の役員◆

新潟県立大学後援会 顧問 大淵智絵
 (公財)新潟県女性財団 評議員 五十嵐由利子

*次ページに五十嵐さんによる活動紹介を掲載



公益財団新潟県女性財団評議員として 3 年目

五十嵐 由利子

新潟県女性財団は令和 5 年に 30 周年を迎えましたが、その前年に新潟県の組織改正に伴い、女性財団に新潟県男女平等推進相談室が加わり、事務局体制も増員されました。女性財団の事業計画の柱は、①情報提供、②研修事業、③支援・交流事業、③相談事業です。各年度の事業報告は女性財団のホームページに掲載されていますので、私たち支部と関連がありそうな事業について述べたいと思います。

③支援・交流事業の中で、令和 4 年度から始まった「女性ロールモデル啓発事業」は、進路選択におけるアンコンシャスバイアスの解消を目的として中学生を対象に理工系などへの進学・就職のロールモデルを紹介する出前講座です。令和 4 年度は 1 校だけでしたが、令和 5 年度は 6 校で実施されました。評議員会で、文系もという意見が出されましたが、財団としてはまずは理系で進めたいということでしたし、私自身も大学の理系学部での女子学生割合が少ないことから財団の方向に賛成しました。令和 6 年度は 15 校が予定されています。

①から④で多くの事業が実施されており、その参加人数も公表されていますが、参加された方の新たな気づきはなかったのか、少しでも改善しようと思ったところはなかったのかが気になり、参加者へのアンケートをとっていると思うがどうだろうかと質問をしました。アンケートはとって次回の計画に反映させているとの回答でしたが、成果は数だけではないので、可能な限り次回から示していただきたいと述べました。

また、「にいがた女と男フェスティバル」が毎年開催されていますが、令和 6 年度はそれまで様々な団体が主催したワークショップは実施されませんでした。その理由は参加人数が非常に少ないのが多く、見直しをしたいとの説明でした。

前任の高橋令子さんから引継いで 3 年目となりましたが、団体会員としての協力の仕方を模索している状況です。

留学生との交流会 報告

日時：2024 年 6 月 30 日 (日) 会場：古町百年長屋 SAN、燕喜館ほか 支部長 大淵 智絵

ゲスト：
Jill Awaiya Goroba さん 国際大学公共経営・政策分析プログラム(PMPP) 修士課程 パプアニューギニアより
Ngo Thi Thanh Ha さん 事業創造大学院大学今春卒業 ベトナムより
EKACHAERYANTI ZAIN さん 新潟大学大学院医歯学総合研究科 博士課程 インドネシアより
宮沢美里さん 新潟大学大学院保健学研究科 博士前期課程 2 年

新入会員にジル・ゴロバさんを迎えたことをきっかけに、留学生との交流会を企画しました。加えて、NVC の紹介で昨年からの調査研究「ユースの力を未来に活かすために」にご協力くださったハーさん、JAUW 奨学生のエカさん、そして新潟大学大学院保健学研究科の宮沢美里さんがご参加くださいました。宮沢さんは賛助会員の佐藤さんのご紹介。堪能な英語とはつらつとした笑顔で留学生と親しく接して下さり、運営の助けとなりました。

初めに古町百年長屋 SAN を会場に参加者の自己紹介、続いてジルさんとハーさんによる講話。ご出身国のことや新潟での留学生活についてのお話に引き続き、ランチをいただきながらの懇談はカジュアルな会場の雰囲気にも助けられおおいに盛り上がりました。会員を代表し高橋令子会員による「歓迎のことば」は日本語と英語の両方で話され、留学生生活を労う心のこもったスピーチでした。

その後、上古町と白山神社の散策をしながら白山公園に移動。燕喜館では新潟大学の学生たちによる茶会が開かれ、鈴木裕美会員が指導する江戸千家茶道部の茶席に席入。お茶会は今回留学生たちが最も楽しみにしていた体験でした。

日常の支部活動や本部委員会との活動協力を丁寧に進める中で、ここ数年の間に新しい出会いがあったり、当会に関心を寄せてくださる方が現れました。今回のこの行事は、そのような方々の協力や会員一人一人の日頃の活動が繋がって実現しました。事前準備と当日の運営も参加会員全員が役割を持ち、力を発揮され、ささやかな規模ながら内容は生きた文化そのもので、文化交流は成功だったと思います。会員は自身の経験から留学生の心情に寄り添うことができ、当会の特性を活かし、留学生と社会から期待される役割の一端を果たせたのではないかと自負しています。

この行事の開催にあたりご協力くださいました皆様、「相客に心」をくださったご参加皆様に厚く御礼申し上げます。なおこの事業は、JAUW 文化交流事業に採用されましたことを最後に報告いたします。

留学生との交流会 報告その 2

「極楽鳥」と「南十字星」が描かれたパプアニューギニアの国旗はジルさんからのプレゼント。



ジルさんとハーさんは、鮮やかな資料をご用意くださり、故郷や日本での留学生活についてスピーチ。留学生の大学生活の話題は、会員からぜひ知りたいとのリクエストに応じて。ジルさんのドレスはパプアニューギニアの国鳥「極楽鳥」の美しい柄で、私たちの目を楽しませてくれました。ハーさんはこの春大手菓子メーカーへ就職、目標を叶えた嬉しいご報告もありました。

古い商家をリノベーションした会場は、太い梁が見事。「車座」でリラックス。



Welcome Speech 「歓迎の挨拶」

Reiko Takahashi 高橋令子

Good morning, everyone. Welcome to our international exchange meeting. My name is Reiko Takahashi, a board member of Japanese Association of University Women. We are glad to have a chance to communicate with international students who live in Niigata-ken today.

Many years ago, I used to live in California USA for a year with my family. I'll tell you some lessons to live in foreign country that I thought at that time.

I tried to communicate with American people, not Japanese. There were many Japanese societies, but I didn't join them. It was easy to communicate in mother tongue, but I thought I would lose a chance to learn the country.

I made a friend who was mother of my daughter's friend. My daughter was a kindergarten student. We went her home to speak English and sometime joined a home party. The people who attended the party was very international, Korean, Chinese and Indian.

It's very important to make international friendships, as we are facing the global problems of environmental issues and wars.

I hope it's a good chance for you to know Japan today. Let's enjoy together. Thank you.

高橋さんは日本語と英語の両方でご挨拶されました。

吉谷さんはこの日のために英語のパンフレットを多数ご用意。仲川さんは日頃からジルさんと英文メールでの連絡係と、当日は駅で出迎えも。登坂さんは受付係、小野さんと高橋さんは英会話でコミュニケーション。会員一同が力を発揮し、協力して運営しました。



大学女性協会 文化交流事業
(一社) 大学女性協会新潟支部 留学生と日本人学生との交流会
日時 2024 年 6 月 30 日(日)10:30
会場 古町百年長屋 SAN、燕喜館

"Call me by this name."

◆参加者

ゲスト
Jill Awaia Goroba さん【 】 国際大学公共経営・政策分析プログラム(PMP) 修士課程
バブアニューギニアより
Ngo Thi Thanh Ha さん【 】 事業創造大学院大学今春卒業 ベトナムより
EKACHAERYANTI ZAIN さん【EKA】 新潟大学大学院医歯学総合研究科 博士課程 インドネシアより
宮沢美里さん/Misato MIYAZAWA【 】 新潟大学大学院保健学研究科 博士前期課程 2年

会 員
阿部美知子/Michiko ABE 五十嵐由利子/Yuriko IGARASHI 大瀧智絵/Chie OFUCHI
小野美知子/Michiko ONO 鈴木裕美/Yumi SUZUKI 高橋令子/Reiko TAKAHASHI
登坂美江子/Mieko TOSAKA 仲川幸子/Sachiko NAKAGAWA 吉谷美知子/Michiko YOSHIYA
佐藤拓一(賛助会員)/Takuichi SATO

*エカチャエリヤンティ ザインさん、五十嵐由利子さん、鈴木裕美さんは、第三部からの参加です。

◆本日のプログラム
第一部 トーク&ランチ(10:30~12:00頃まで)
歓迎のことば
全員で自己紹介
留学生のお話(ゴロバさん、ハーさん)
ランチと懇談

第二部 上古町と白山神社散策
散策ではたくさんのお写真を撮影して、会報用にご提供をお願いします
白山神社では風鈴まつり、茅の輪くぐりが開催されています

第三部 燕喜館学生茶会 13:00 集合 茶席終了後に解散、自由散策
集合写真撮影
燕喜館の建物と茶席を英語でご案内します

"Call me by this name."とプログラムのお名前欄に書き添えて。



藤色の着物の鈴木さん、日頃ご指導にあたる新大医学部江戸千家茶道部が今回ご協力くださいました。鈴木さんはエカさんと英語での連絡係も。

灰白色の着物の五十嵐さん、待合で懐紙の説明の様子。懐紙の可愛い透かし柄に留学生から感嘆の声が挙がり、他の参加者からも様々な柄の懐紙が集まりました。



茶席は初夏の道具やお菓子の繊細な美しさに加え、席主さんが英語でご挨拶くださるなど、素晴らしい心尽くしを感じることができました。



ジルさんへ英語での連絡を担当する仲川さん。2人は度々メールを交わしましたが、この日やっと初対面。ハーさんはN1取得済で日本語堪能、行事中、時には通訳にご協力下さいました。



白山神社では一年の前半の穢れを清め残り半年の無事を祈る「茅の輪くぐり」を体験しました。風鈴まつりや花水手、蓮池など美しい風景を楽しみました。



“ミサト” 宮沢美里さん (新潟大学大学院保健学研究科)
“ジル” ジル・ゴロバさん (バブアニューギニアより)
“ハー” ゴ・ティ・タン・ハーさん (ベトナムより)
“エカ” エカチャエリヤンティ・ザインさん (インドネシアより)



「またね」と声を掛け合って解散したのが印象的でした。

支部の動き(主なもの)

【3月】

- 3/7 第6回役員会・運営会議(メール)
- 3/14 会計監査 事業報告書を本部へ提出
- 3/18 決算報告書を本部へ提出
- 3/18 会員へお知らせメール
- 3/25 JAUW 奨学生授与式報告書を所属大学へ郵送
- 3/27 新潟県女性財団評議員会/五十嵐

【4月】

- 4/18 総会資料作成、全国総会打合せ、会報No.12 発送
- 4/27 支部総会、臨時役員会、全国総会打合せ

【5月】

- 5/1 新潟県奨学金ガイド掲載
- 5/11~13 全国支部長会、定時総会、全国総会へ3名出席
- 5/15 新潟県女性センター情報No.137 に団体紹介掲載
- 5/16 第1回役員会・運営会議
- 5/20 2025年度全国総会研修旅行下見会
- 5/22 新潟県立大学後援会総会 顧問として出席/大淵
- 5/22 会員あて郵便発送

【6月】

- 6/2 文化交流事業申請書の提出
- 6/3~ 外部からの調査依頼対応
- 6/11 新潟県女性財団評議員会/五十嵐
- 6/15 支部奨学賞応募要項のウェブサイト掲載
- 6/18 会員へお知らせメール
- 6/20 第2回役員会・運営会議
- 6/24 留学生との交流会会場下見
- 6/25 支部奨学賞(14大学)国内奨学生(10大学)応募要項郵便発送
- 6/30 留学生との交流会

【7月】

- 7/15 臨時役員打合せ(zoom)
- 7/18 文化交流事業報告書の提出
- 7/28 2025年度全国総会について
新潟観光コンベンション指定申請書の提出

【8月】

- 8/7~ 大学より奨学金問い合わせ対応
- 8/23~ 日本臨床検査学教育学会学術大会抄録集へ広告掲載
- 8/30 JAUW 奨学生受付締め切り

ベトナム奨学生からのレター

2023年度から新潟支部国際奨学生(ベトナム奨学賞)として採用のドアン・ティ・カイン・リンさんよりお手紙が届きました。協力団体のNVC・新潟国際ボランティアセンター様の翻訳とともに披露いたします。

大学女性協会新潟支部様

私はドアン・ティ・カイン・リンと申します。現在、情報技術大学でコンピュータネットワーク・データ通信を専攻している2年生です。過去および今後数年間、奨学金を後援して下さった大学女性協会新潟支部に深く感謝の意を表したいと思い、この手紙を書いています。

去年に授与していただいた奨学金のおかげで、学費の支払いにあてることができました。これにより、家族の経済的負担が大幅に軽減し、学業上の夢を追い続けることができます。

去年、学業にとっても熱心に取り組み、8.09/10の成績を取ることができ、大学から表彰されました。また、社会貢献活動といった学外活動も積極的に参加しました。今、デザインクラブ長として学外活動を通じて、ソフトスキルとコミュニケーションスキルも磨いており、将来の仕事に役立てようと思っています。将来は社会に貢献できる社会人になりたいからです。

皆様の温かいご支援に改めて感謝申し上げます。

親愛なる皆様に、自分の成長と目標を共有できる機会をととても楽しみにしています。

よろしく申し上げます。

カイン・リン

12
Dear Daigaku Josai Kyokai Niigata Branch and NVC,
My name is Doan Thi Khanh Linh. I am currently a
second-year student, majoring in Computer Networks and
Data Communication at the University of Information Technology.
I am writing this letter to express my gratitude to Daigaku
Josai Kyokai Niigata Branch and NVC for sponsoring my
scholarship for the past and upcoming years. The scholarship
I received last year was used for part of my tuition. That
money helped my family ease a bit of hardship. Thanks to the
support of my sponsors, I have had more opportunities to
pursue my educational dream.
Last year, I tried very hard to complete my studies well. As
a result, my GPA reached 8.09. Thanks to that, I was
rewarded by the school. I am grateful for the opportunity to
go to school.
Besides, I also actively participate in social activities.
Currently, I am the leader of the Faculty Design Committee.
Participating in social activities helps me build social
relationships and practice soft skills. I think that helps a lot

in future work. And because I also hope that I will become
an individual who can contribute to society.
Once again, I sincerely thank you for your support.
I look forward to the opportunity to share my progress
with future sponsors.
Best regards,
Khanh Linh.

お知らせ



●第 75 回新潟支部奨学賞授与式

2024 年 11 月 30 日 (土) 11:00 より開催 会場 アルザにいがた

●2024 年度支部奨学賞の募集について

新潟県内の大学の各学部・大学院で学ぶ女子学生を対象に、新潟支部奨学賞を贈呈します。今年度の応募小論文テーマは「ジェンダー平等社会実現のためにすべきこと」です。

現代の日本社会では、女性の活躍への期待が高まっています。しかし、女性の社会進出等を示す国連のジェンダー指数から見る日本の女性の地位はまだ低い状態です。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響は、女性の弱い立場をクローズアップしました。このような状況の中でジェンダー平等社会実現のためにすべきことを、個人、国の制度、企業や社会のありかた等の中から、自身の実感や経験を踏まえて述べていただきます。

応募受付期間は 9 月 1 日～10 月 10 日、第 75 回支部奨学賞授与式は 2024 年 11 月 30 日 (土)。実施の詳細、応募書類のダウンロードは大学女性協会新潟支部ウェブサイト <http://jauwniigata.blog.fc2.com/> から。

●「支部奨学賞」応募要項送付校 (順不同)

新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟国際情報大学、新潟産業大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、敬和学園大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学、三条市立大学

●本部「国内奨学賞」応募要項送付校 (順不同)

新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学

定時会員総会・JAUW 全国総会

5 月 11 日 (金)、12 日 (土)、13 日 (月) の 3 日間にわたり、今年度の JAUW 第 13 回定時会員総会および全国総会が名古屋市 (ホテルルブラ玉山) で開催され、新潟支部からは大淵智絵、鈴木裕美、高橋令子の 3 名が出席いたしました。来年度の新潟開催を控え、準備と運営のための有意義な視察の機会となりましたので報告いたします。

日程 : 5 月 11 日 支部長会、懇親会 12 日 第 13 回定時会員総会、全国総会 (学習会) 13 日 研修旅行

○第 13 回定時会員総会 in 名古屋 報告 一懇親会・全国総会を中心に

鈴木 裕美

初日、懇親会会場での受付では書類やたくさんの観光案内とともに「愛知のお菓子つめあわせ」も配付。これは準備にあたられた愛知支部のみなさんが、名古屋らしさが味わえるおもてなしを考えてくださったもの。運営の端々に愛知支部の心遣いを感じ取れました。

懇親会では、テーブルがたまたま各地区の支部長経験者の方々とご一緒でき、来年の新潟開催への希望含めたご自身方の地域の情勢などお聞かせいただけました。地元出身の板倉歌奈子さんの迫力ある歌声に思わず聴き惚れましたが、最後に「今日の日はさよなら」の参加者全員による合唱も魅力的でした。

二日目は午前中に総会。午後は講演会「名古屋自慢」の後に、「ユースと共に拓く大学女性協会の未来」と銘打ち活動報告があり、中でも若手会員による活動報告が印象に残りました。来年の新潟開催の成功を強く再認識した参加でした。

○名古屋総会研修旅行に参加して

高橋 令子

研修旅行は「愛知県の伝統・自然・産業を一日で体験する旅」と題して開催されました。

名古屋市内から西にバスで移動して、有松・鳴海校会館での絞り染め体験、蒲郡クラシックホテルでのランチ、西尾抹茶ミュージアムでの見学をしました。一日中雨でしたが、すべて室内だったので問題なく参加でき、計画の周到さを感じ入ることとなりました。

「桶狭間の戦い」の舞台の近くに有松があります。この絞り染めは、徳川家康が江戸に幕府を開いてまもない慶長 13 年 (1608 年) に、絞りの開祖竹田庄九郎らによって始められました。尾張藩が有松絞りを藩の特産品として保護し、東海道の旅人達の人気商品として繁栄したとのこと。ここでは絞り染めの展示、実演、販売、体験教室もあり、私たちはさっそく体験をさせていただきました。講師の説明どおりに綿布に糸を絞り、何色かの染料の桶につけて模様を作りました。私はハンカチ用の白布に緑と紫の二色で糸絞りをし、紫陽花の模様のように仕上がりました。大淵さんは板絞りで藍染の手ぬぐいを作りました。外は町並み保存地区で、江戸時代の茶屋町の情緒が美しく残され、雨でなければ町歩きをしたいくらいでした。

その後、蒲郡にあるクラシックホテルで豪華なフランス料理のランチを頂きました。名産のみかんジュースも添えられ、三河湾の海の幸を中心にしたメニューを楽しみました。窓の外には国の天然記念物である竹島が見え、三河湾の風景も御馳走のうちでした。最後は西尾抹茶ミュージアムへ。抹茶製造工程の見学、試飲、買い物をしました。滅多にない経験をさせていただき、充実感のある研修旅行でした。

5 月 11 日 (土) 支部長会・懇親会



新潟支部から参加の三名 懇親会会場にて



懇親会プログラムの美しいデザイン



5 月 12 日 (日)
定時会員総会 と
「次世代につなぐ会」活動報告



支部長会の様子
新潟支部会報の配付も



愛知のお菓子詰め合わせに葉を添えて



5 月 13 日 (月)
研修旅行



有松で絞り染めの体験



蒲郡クラシックホテルでのランチ

編集後記

今号では全国総会の報告を掲載しました。来年度の新潟開催に向けた準備も始まっており、5 月 20 日には研修旅行のプランを下見・体験して参りました。あいにくの雨の中、皆で数台の車に同乗して燕三条まで行き、今回はものづくりの工場を 2 か所、地場食材のイタリアンレストランなどを訪問してきました。地場産センターには、主婦の目で欲しい物が沢山ありました。これから、更にツアーを検討していきたいと思います。どうぞお楽しみに。
阿部美知子



会報担当 (五十音順)

阿部、大淵、三上、吉谷

○新潟支部ウェブサイト

新潟支部会報 No.13

(一社) 大学女性協会新潟支部

支部長 大淵智絵

<http://jauwniigata.blog.fc2.com/>

発行日 2024 年 9 月 1 日



支部発信の情報